

はじめに

室戸市津波防災マップは、市民の皆様が津波から安全に避難するために必要な情報を記載したものです。平成27年に作成し、その間に避難経路の整備や避難タワーの建設など、新たに記載すべき情報も多くなりましたので、今回改定することとなりました。

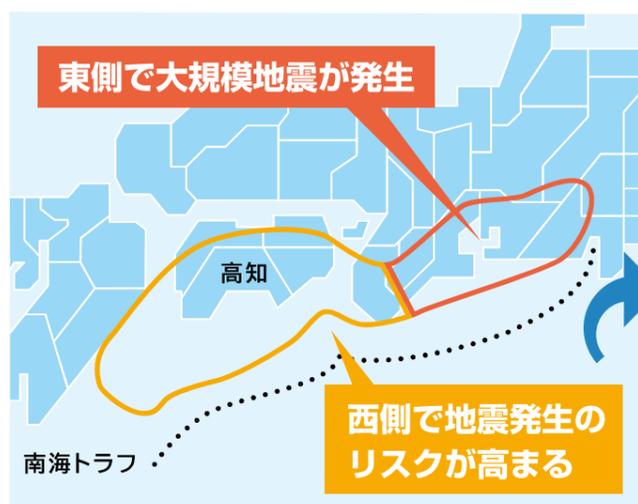
南海トラフ地震は30年以内に70～80%で発生すると推計されており、日頃から我が家の避難経路や避難場所などを確認しておき、いざというときに備えておきましょう。

目次

地震！その時に！ゆれる前にやっちゃおう 1
 室戸市津波防災マップ 2

羽根	室戸岬	津波浸水 予測時間図
羽根(西) 2	菜生 38	羽根町・吉良川町 74
羽根(中) 4	岬(西) 40	吉良川町・元・浮津 76
羽根(東) 8	岬(東) 42	浮津・室津
吉良川	室戸岬 46	領家・室戸岬町 78
吉良川(西) 12	高岡 48	室戸岬町・佐喜浜町 80
吉良川(中) 18	三津 54	佐喜浜町 82
吉良川(東) 20	椎名 58	
室戸	佐喜浜	地震・津波時の避難所 (収容施設)
元 24	尾崎 64 85
奈良師・岩戸 28	都呂 66	
浮津(東)・浮津(西) 30	浦 68	
大谷 32	根丸 70	
領家・室津 34	入木 72	
南新町・室津 36		

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表されたら



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)は、南海トラフの東西いずれかのエリアを震源とする大規模地震が発生し、もう一方のエリアで地震発生リスクが高まったときに発表されます。

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表

- 30分以内に津波が到達する地区の方** 避難勧告が発令されます。
※対象エリアはP74～82をご参照ください。
- その他の地区の方** 地震・津波に対する備えを再確認してください。
※避難が間に合わない方、不安がある方は、避難所や親戚宅等への事前避難を検討してください。

留意事項: 突発的に起こる地震には常に備えましょう。

地震！その時に！

1 ゆれたら

部屋の中



- 丈夫なテーブルや机の下に隠れる
- 座布団やクッションで頭を守る
- 玄関や窓を開けて出口をつくる

火を使っているとき

- やけどの危険があるのでコンロから離れて身を守る
- ゆれがおさまってから火を消す

建物の外



- ガラス窓・看板など、落ちてくる物に気をつける
- 持ち物で頭を守る

火災が発生したら



- 近所に大声で知らせる
- 早く消化する
- 火が大きくなったら、すぐ逃げる

山の中



- がけの上や下など、土砂崩れのおそれのあるところから離れる

車の中



- あわてずゆっくり左側の路肩に停車してエンジンを切る
- ロックせずキーをつけたまま車を離れる

川や海岸



- すぐに水際から離れ、少しでも高い場所へ移動する

ブロック塀などの近く



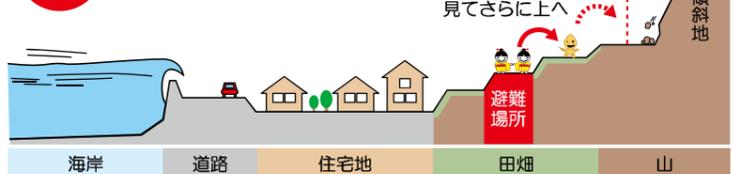
- ブロック塀や自動販売機が倒れてくるので、すぐに離れる

長いゆれ、強いゆれの後には必ず津波がくる！

2 ゆれがおさまったら

いざ逃げる時にも、周囲には危険がたくさんあります。

山にも危険があります



室戸市は住宅地の前は海、後ろは山という「海岸段丘」とよばれる地形が続いています。急傾斜地のがけに近づきすぎると、落石などの危険があります。まわりの状況に十分注意しながら、高い場所へ逃げましょう。



「逃げる！」 大声でまわりに知らせながら率先して避難しよう

近くの高いところへざんじ逃げる！

津波が川や谷をさかのぼり、あふれる危険があります。できるだけ早く、川や谷筋から離れましょう。



夜間 夜間の避難

地震は寝ているときにおこるかもしれません。夜間の対策も必要です。

夜間の避難訓練を実施しよう

ブロック塀の倒壊

倒壊によって避難路がふさがれる恐れがあります。複数の避難路を確認しておきましょう。

避難訓練を実施しよう

3 戻られん！

津波は長い時間繰り返しおそってきます。第一波より第二波が高い場合があります。絶対に警報が解除されるまでは戻らないようにしましょう。



津波警報が解除されるまで絶対に戻らない！

津波警報が解除されるまでに丸1日以上を要した地域もあります。長時間の避難に備えて、防災倉庫の移動やテントなど雨風をしのぐ備えをしましょう。

